

遠野 議会だより

No.59

令和元年10月

【発行】
遠野市議会



ししといっしょに うんどう会！

青笹保育園は本年、創立50周年を迎えました。
記念祝賀会が、11月23日に行われます。

Facebook

マチイロ



主な内容

- ◆ 9月定例会の概要 2
- ◆ 決算特別委員会質疑 5
- ◆ 予算等審査特別委員会質疑 7
- ◆ 学んで行動する議会へ 8
- ◆ 一般質問9人市政を問う 9

9月定例会

令和元年9月定例会を、8月27日から9月12日までの17日間の会期で開催しました。

一般質問は、9人の議員が登壇し、市政を問いました。

市が提出した案件は全27議案で、平成30年度決算関係10件、令和元年度補正予算関係6件、条例関係9件、その他2件を審議しました。

採決の結果、議案第15号、28号、32号及び33号が賛成多数、その他は全会一致で原案のとおり認定、可決しました。

また、追加提案された人権擁護委員の推薦に伴う人事案件1件に同意したほか、議員発議による意見書1件を可決しました。



賛否の公表

賛否がわかれた議案等についてのみ掲載しています。

議案名	賛成	反対
議案第15号 平成30年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定について	14	3
議案第28号 遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定について	13	4
議案第32号 遠野市宮牧野条例の一部を改正する条例の制定について	16	1
議案第33号 遠野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び遠野市保育料条例の一部を改正する条例の制定について	16	1

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
議員氏名	小松 正真	佐々木恵美子	菊池 浩士	佐々木敦緒	佐々木僚平	小林 立栄	菊池 美也	萩野 幸弘	瀧本 孝一	多田 勉	菊池由紀夫	菊池巳喜男	照井 文雄	荒川 栄悦	安部 重幸	新田 勝見	佐々木大三郎
議案第15号	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第28号	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○
議案第32号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対。

審議結果は、遠野市ホームページで確認することができます。

遠野市議会 9月定例会 審議結果

検索

7月臨時会

令和元年7月臨時会を31日に開催しました。

国体記念公園市民サッカー場B面改修工事の請負契約の締結について1件を審議し、原案のとおり可決しました。

議案第28号 遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定について・可決

条例改正の趣旨は、市が進める「小さな拠点による地域づくり」において、令和2年度から地区センター施設を指定管理者に管理委託することができるとの規定を定めようとするものです。

反対討論

新田 勝見 議員
条例改正後には行政組織の見直しや行政区の再編が、官主導で進められる心配がある。

市の職員が地区センターに居なくなること、市職員の減を地区センターにし寄せする方針。地区センターは、地域づくりの拠点施設であり、人口減少の今、もっと太いパイプで市が支援すべき。行政区の再編についても、行政区ごとに話し合いが必要。地域の課題について、準備に時間をかけるべき。条例改正は時期尚早であり、反対する。

賛成討論

瀧本 孝一 議員
この改正は、現在の地区センターを、これからの地域づくりの拠点として住民自治を実現するための入り口である指定管理者制度の導入。自立的・持続的な地域づくりを模索しながら、大きな社会構造の変化に対応していかなければならない。

国を挙げてこの小さな拠点による地域づくりを進めている現在、県内でも本市の取り組みは決して早くない。議会もチェックしながらより良い方向を目指すことが大切な役割である。

反対討論

荒川 栄悦 議員
小さな拠点による地域づくりは、今後の遠野市の将来を担う考え、構想である。これがしっかり議論されないまま条例改正だけが先行されるのは疑問である。

もつとゆつくり時間をかけるべき。あまりに早急な条例改正には反対。

賛成討論

照井 文雄 議員
条例改正の指定管理者制度は、特色ある地域づくりをそれぞれの地域で進めることができる第一段階と考える。

反対討論

小松 正真 議員
今年の市民と議会の懇談会において、あの地域では「市からある程度の具体案が示されない」とわれわれも意見を述べられない」との声もあった。条例改正できなければ、混乱が生じるのではないかと。

小さな拠点による地域づくりの構想の方向は、今後市民からの意見を聞いて変わる可能性があるとのことだ。議会が議決した後、条例の根拠になつていく方針が変更されるという事は、あつて

賛成討論

佐々木 大三郎 議員
遠野市の現状は、少子高齢化と人口減少、財政難に歯止めがかからない状態が続いている。このことよって、地域コミュニティや医療、福祉、農業などの日常生活を揺るがす事態の発生が危惧される。まさに、まったなしの状況。

この打開策として、小さな拠点による地域づくり、地区センターへの指定管理者制度の導入が示され、現在地域への説明も行われている。住民の理解を得ていると言えない地区もあるが、そこには、今後、

【関連記事】

議案第28号については、予算等審査特別委員会でも質疑応答を交わしました。詳細は7ページをご覧ください。

十分に説明しながら進めるという一般質問での市長答弁があった。

ポイント

指定管理者制度って何？

市の公の施設の、管理運営を民間事業者等に委託する制度です。

「地区センターの指定管理」は、現在は市職員が常駐し事業を行いながら施設も管理しています。指定管理されることになれば、職員ではなく民間事業者等に施設管理を引き受けてもらうこととなります。

市は、施設管理を担う方の人件費も含めて指定管理料を計算し、この業務を受けてくれる団体を公募し、議会で認めることとなります。

指定管理のメリットは、地区の現状に合わせ柔軟に運営できること、収益を上げる事業を行うことなどがあげられます。

請願

◆請願第2号

介護従事者の全国を適用地域とした※特定最賃の新設を求める請願

【請願者】

岩手県医療労働組合連合会
執行委員長 中野るみ子

(不採択)

◆請願第3号

看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願

【請願者】

岩手県医療労働組合連合会
執行委員長 中野るみ子

(不採択)

※特定最賃
地域別最低賃金とは異なり、特定の産業または職業について、全国一律に設定される最低賃金。

議員発議

今定例会では、1件の議員発議案（意見書1件）が提出されました。

意見書

◆発議案第3号

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

(採択)

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にあるものの、高齢運転者による死亡事故の割合が高まっている。高齢運転者の安全対策、安全運転支援の取り組み、運転免許証自返納時に公共交通機関の割引制度等の支援、地域協働による公共交通空白地の有償運送サービス、などを充実することを求める。

市議会って何だろう

Q 討論って？

議会の会議において、質疑が終わると議長は「討論」を宣告します。この「討論」とは議案に対する賛成、反対の旨とその理由を述べて他の議員の賛同を目的とする発言のことを言います。

Q 請願と陳情って？

私たち市民が市政に望むこと、実行してほしいことを議会に直接訴える制度で、誰でもだすことができる大事な権利です。

請願は、紹介議員を必要とし、その問題を所管する委員会が審査し、その後、本会議で採択、不採択を決定します。

採択された請願は、意見書が発議され、議決後に国や関係省庁、市に送り、その実現を要望します。

陳情は、紹介議員を必要とせず、原則陳情書は写しを全議員に配布します。各議員は、趣旨や要望事項などを確認し、対応について会派などで協議しますが、本会議や委員会での審査は行いません。

請願、陳情の提出には、期限がありますので、提出を希望する方は、遠野市議会事務局へお問い合わせください。

遠野市議会事務局

電話0198-62-2111

内線172・173

決算特別委員会

決算特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長瀧本孝一議員、副委員長小林立栄議員）は、決算等10件について付託され、審議を行いました。今委員会では、事業後の成果等について活発な質疑応答を交わしました。その結果、全10議案を原案のとおり認定・可決しました。

高齢社会の総合交通対策は

高齢化や人口減少の中にあつて、足の確保が大きな課題となっている。

どのような施策を講じているのか。

定額低料金（200円）バスの運行等を支援している。今後、優遇制度も検討したい。

交通空白地帯の対策は。

これから小さな拠点による地域づくりをすすめる中で、地域づ

くり連絡協議会を中心とし、交通空白地有償運送によって各地区の取り組みを促していきたい。

急な対策が必要では。高齢者の交通事故が多発することに対する一つの有効な手段ではあると思うが、公共交通の希薄な当市にあつては抜本的な解決策とはならない。

国の動きにも併せて交通事業者と協議しながら対策を検討してい

きたい。

産後健康診査の成果は。

見込みを上回る利用者があつた。主治医に診ていただくことで、情報を共有しながら母子のサポートにつながつた。

助産院ねつとゆりかごの利用者の声は。

婦人科医の常駐や子どもを見てもらえる環境等を望むものがあつた。

ダイエット事業は

前年度に比較し、ごみの回収量が増えているが。

ごみ処理量全体で229t、可燃ごみについては279t増えている。今年度からの事業系ごみ有料化に伴い、駆け込みの影響で増えた事が要因のひとつである。

さらにごみの減量化に努めるべきでは。

分別の徹底を周知し減量化を図りたい。

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

若者の離職率を下げるために

若者のごとサポート事業の実績は。

3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。

市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等の一部をご紹介します。（文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。）

毎月、遠野に帰るたびに楽しみに拝読しております。各議員の政治活動・政治方針が垣間見られます。議会の中も「ガラス張り」のようにお見受けしています。
(世田谷区、63歳、女性)

「問」「答」が色分けしてわかりやすいです！これからも頑張ってください。
(宮守町、35歳、女性)

遠野に来てあつという間に時間が過ぎます。年寄りにならなくても年寄りになりますね。免許返納しやすい。交通網、足がどこの市より、画期的に整い、トしよりも、オもいやりある、ノほほんくらしが、出来る街になれば、最高だなあと思います。
(青笹町、77歳、女性)

スマホ、タブレットで議会だよりを見ています。いつでもどこでも遠野を知ることが出来てうれしいです。クイズも楽しいひと時最高！きれいな水で育った一人として外山の水澄みきった流水に戻してほしいと願いつつ書きました。
(小友町、54歳、女性)



相談する同世代がないことが若年層の離職につながっているようだ。どのような対策をとっているか。

新入社員や若手リーダー対象の研修を開催している。それぞれの年代で相談できる体制を構築したい。

遠野牛の現状は

飼養農家戸数が減っているが対策は。

意欲のある若手生産者に対して、施設整備に重点をおいて助成している。

遠野牛のブランド化を目指しているが、肥育牛が干頭を割っている。どう捉えているか。

大事なことは遠野産の子牛を育てること。その仕組みづくりをしていきたい。

地元での消費を拡大した方がよいのでは。

地域内での消費も大切であるが、地域発ブランドとして全国に向けて取り組んでいきたい。

産直ネットワーク事業は

「結いの市」に係る産直ネットワーク事業の成果は。

農家の所得向上のため、盛岡商圏への販路拡大を目的に実施した2年間の実証事業の

1年目で、主に「結いの市」への配送システム構築を図った。

問 「結いの市」撤退の影響は。

答 結いの市産直組合員は新たな販路拡大を希望している。この事業で構築した配送システムを活かし、盛岡商圏、具体的には(株)川徳の販売面積を広げるなどし、販路を開拓していきたい。

「遠野市営住宅等長寿命化計画」策定

問 計画策定の業務受託者は。

答 市内の設計会社共同企業体である。

問 策定委員会の開催状況は。

答 3回開催。計画の説明や提案に対し、市営住宅に入居している子育て世代の女性2名を含む8名の委員からご意見をいただいた。

員し、学習プリントの作成や採点指導など行った。実態に応じた指導・支援により、生徒の数学への理解が深まった。

問 英語の取り組み成果は。

答 実用英語検定・英検I B Aを活用して、生徒が自身の学力の実態を確認し、目標を持ち学習に取り組むことができた。また、教員の指導の充実につながることができた。

問 外国語指導助手(A-LT)を1名から3名に増員して取り組んだ成果は。

答 学校への派遣回数を、平成29年度の248回から533回に増やすことができた。児童生徒が生きた英語に触れ「聞く」「話す」楽しさを体験でき、コミュニケーション能力が高まった。

問 入居者への説明は。これからになる。入居者と調整しながら丁寧に進める。

問 近隣の地域住民にも計画の事前周知が必要では。

答 事業実施前に地域には説明に入り、まちづくりに関わり付けていければと考えている。

問 条例定員935人に対する団員数どのように捉えているか。

答 平成31年4月1日現在の団員数は881名。充足率94.2%。県内平均よりも高い充足率となるが、今後は人口減少に伴い団員の

問 地区センターに指定管理者制度を導入する理由は。

答 人口減少により地方交付税等の収入が減少し、職員数も削減しなければならず、現実として市直営の行政運営は難しくなる。地区センター機能を維持しながら、地域づくりを進めて行かなければならない。指定管理により地域で運営していたことを、今の体制を維持できると考えて

予算等審査特別委員会

減少が見込まれる。

問 高校生は入団できるか。

答 18歳以上であれば可能であるが、実際には、授業・部活との兼ね合いや学校との調整が難しいと思われる。

問 消防団協力事業所の状況は。

答 24事業所に協力いただいている。前年度と変わらずに推移した。



議案第28号 市民センター条例改正

問 導入する利点は。

答 地域運営の拠点施設として、例えば喫茶店などの収益事業や住民が集える空間として自由度が高くなり、さらに有効利用できる。

問 指定管理者の想定は。

答 地域づくり連絡協議会が進化した形の地域運営組織を構築し、指定する考えである。

問 導入後、市の地域への関わりは。

答 これまで通り、市民協働事業の推進、地域運営組織だけで解決

も、費用弁償は一律である。理由に応じた支給を検討したことはあるか。

答 検討していない。4時間以上の連続活動にならないよう調整し、当面は、現状を維持する。

介護人材の現状と展望は。

問 介護人材の現状と展望は。

答 有資格者、専門職確保も難しい現状と認識している。昨年度より奨学金の返済助成による新しい人材の募集や、外国人の雇用を検討する事業所もあり、雇用に関する支援制度の周知に努め、人材確保の支援としたい。

問 介護に従事する外国人の就労継続には、サポートが必要では。

答 雇用している事業

が難しい課題などは、地域と一緒に取り組む。

問 行政主導のスケジュールで進めるのか。

答 令和2年4月1日から導入できる条例改正であるが、強引に進めるものではない。地域に入り理解や合意を得るための努力をしながら、丁寧に取り組んでいく。

保育料無償化に伴う遠野市の施策は。

問 法改正に伴い、10月から3歳以上児の保育料が無償化となるが、おかずにあたる副食費は無償化の対象にならない。

副食費の助成内容は。

答 一定の所得基準を超える世帯で国の助成の対象外となってしまう232人に市が助成する。「子育てするな



みやもり荘で勤務するトヤさん(左)とウヤンガ(右)さん。現場の人手不足解消が期待される

者同士の交流会を開催し、外国人同士の交流を図るなど、就労の継続につながる取り組みをしたい。

児童生徒の数学力・英語力向上へ

問 数学の取り組み成果は。

答 特定教科学習支援員を3名から4名に増

ら遠野」独自の施策であり、継続していききたい。

教職員の多忙化解消に向けて

問 タイムレコーダー導入の目的は。

答 教職員の働き方改革を客観的な方法により取り組むことが義務化された。健康管理、多忙化の解消に向けた勤務管理に活かしていく。

問 管理・運用の方法は。

答 小・中学校の全校に導入する。出勤時にICカードを端末機器にかざすことで、パソコンにデータが記録される。管理や運用方法をしっかりと説明しながら進める。

問 多忙の実態が浮き彫りになると思われるが対応は。

答 これまでの多忙化

遠野文化調査研究費取り組みは

問 委託費の増額の内容は。

答 教育文化振興財団への委託費の増額である。

来年度は遠野物語百十周年を迎える。節目の年を盛り上げるために、地域づくりを考えるシンポジウムや佐々木喜善賞を受賞した映画の上映、また、文化関係団体の交流などのイベントも検討している。

学んで行動する 議会へ

市政調査会

〔調査日〕

令和元年7月22日

〔参加議員〕

16名

◆大野平・石羽根キャトルセンターの状況を調査

キャトルセンターの指定管理者は、遠野市畜産振興公社である。

大野平キャトルセンターは、畜産農家から哺育預託、育成預託、繁殖預託を受けている。

石羽根キャトルセンターは、繁殖預託のみ。どちらのセンターも規模には余裕があり、まだまだ預託が可能である。昔から遠野地方で行



われてきた夏山冬里方式は、牧野利用期間が限られていることから、季節的な負担軽減にとどまり、省力化・コスト低減に十分対応できず、規模拡大の効果には限界があった。キャトルセンターを活用することで、増頭意欲のある農家が施設整備を行わなくても、規模拡大と増収を図ることが出来る。キャトルセンター運営については、今後の改善と安定経営を望むものである。

教育民生常任委員会

遠野ケアイノベーション会議とワールド・カフェ「高齢化問題について」

開催日 令和元年7月31日

高齢者福祉や介護に従事している15名の思いを聞かせていただきました。現場の声を施策に反映できるように、これからも各種団体との懇談会を企画してまいります。

ワールド・カフェは、カフェでくつろいでいるような雰囲気で行われる、新しい「話し合いの手法」です。さまざまな気づきや自由な発想、アイデアを生み出すことができます。



福祉教育の充実を。

希望をもって働きたい。

介護を特別視しない。

福祉の仕事の楽しさを発信する。

息抜きも大事。

高齢化 ≠ ネガティブワード

小友町外山地区メガソーラー開発に起因する土砂の流出について

市長…まずは事業者が地域住民と向き合っていたいただきたい

問……………

市が管理する外山川へ大量の土砂が流出し、下流まで汚濁が広がり生態系や自然環境の破壊が進んでいる。市はどのような許可を与えているのか。

答(市長)……………

道路占用、準用河川占用等を許可している。

問……………

外山川は、遠野市が管理責任者であり、準用河川占用許可はどのような基準により許可されたのか。

答(市長)……………

制度に基づいて許可をした。

問……………

泥の流出阻止対策と

問……………

泥の流出が止まるのか。

答(市長)……………

泥の流出は止まらないのではないかと考えている。様々な対策を進めるよう強く指導をしている。

問……………

泥が止まらないのはこれまでの指導が不十分であったのではないか。

答(市長)……………

現行制度に不備がある中で、この問題に真剣に立ち向かっている。市長として市民の先頭に立っているという自覚と責任をもって

対応している。

問……………

河川が汚濁している問題は、私は河川法で対応できると考えている。問題を収束するための今後の遠野市の対応は。

答(市長)……………

現行制度の中でどのように業者と向き合う手があるのか、今後の見通しを見極めながら対応していく。

問……………

市長は今回の開発に対して反対の姿勢を示していないようだが、反対しないのはなにか理由があるのか。

答(市長)……………

開発に反対する姿勢については変わらな。遠野の自然を守りたいと考えているが、市町村としては現行制

度の中では矛盾と限界を感じている。

問……………

河川管理責任者としての市長の責任は大きい。市長はこの現実に対して市民の盾になって戦ってほしいか。

答(市長)……………

第一義的には事業者が地域住民としてしっかり向きあってもらい、補償や対策について誠意をもって示すのが大事。河川管理者が遠野市だから責任があると議論されたら大変だ。事業者に強く指導をしていく。



小松 正真 議員

一問一答方式

外山川の汚濁は止まるのか 市長…事業者に対し強く指導していく



本年4月の様子 中央奥から外山川、左から小友川



菊池 美也 議員

(遠野令和会)

一問一答方式

その他の質問

- パートタイム・有期雇用労働法について

幼児教育・保育の無償化 新たな財源

市長…引き続き、少子化対策・子育て支援に活用

問………
もたらす効果は。

答(市長)………

令和元年8月1日現在、市内の3歳から5歳児は500人。そのうち、幼稚園・保育所及び認定こども園を利用しているのは98.4%の492人。
子育て家庭の経済的負担軽減はもとより、少子化対策の一環とし

問………
て効果を期待する。

答(市長)………
国の施策である幼児教育・保育の無償化に伴って、生み出される財源の使い道は。

今年度は6か月間で約2200万円、来年度は通年で約4400万円の一般財源が生み出されるものと試算している。

これまでも、国が定めた保育料を半額程度に引き下げるなど、子育て支援に力を入れてきた。平成29年度の出生数は138人。平成30年度は164人。微増ではあるが、子育て支援に力を入れてお

り、少子化の中にも手ごたえを感じている。この貴重な財源は、今後策定する第二次遠野市わらすっこプラン

に基づいて活用し、ハード・ソフト両面から子育て支援を加速させる。さらには、「わらすっこ基金」に積み立て、子どもたちの挑戦と活躍の場を後押しする。

産婦人科医の市内常勤

市長…全力をあげて取り組む

問………
より効果を上げる少子化対策は、産婦人科医の常勤ではないか。

答(市長)………

県に対し、広域的な医療環境整備の観点から、県央と沿岸を結ぶ中継地点の本市に「地域周産期母子医療センター」等の拠点設置を働きかけている。また、官民で連携しながら、医師が遠野で働いてみたいと思うような情報を広く発信し、産婦人科医の招へいを実現したい。



保育園で「お月見会」。お供えに興味津々。お団子はお月さま。ススキは何に似てるかな？



小林 立栄 議員

一問一答方式

災害からの復旧・生活再建支援の充実を

市長…被災者支援を含んだ遠野市業務継続計画を策定した

問………
復旧を妨げる課題に

災害廃棄物の処理がある。仮置き場や処理方法を定めた災害廃棄物処理計画の策定、岩手中部広域行政組合と連携した体制整備が重要では。

答(市長)………

現在、計画策定中であり加速させたい。岩手中部広域行政組合と

問………
復旧活動など長期間

出動する際の消防団員の負担軽減策を。

答(市長)………

消防資機材の軽量化など装備の充実を図ってきた。消防団の管轄を超えた交代要員の派遣、消防団協力事業所

問………
※被災者生活再建支援

表示制度の拡充を図り、地域をあげた支援体制を構築する。

援制度があるが、適用基準を満たさない場合、支援を受けられない可能性がある。災害救助・生活再建支援の条例制定と基金を創設し、安定的な支援体制の構築が必要では。

答(市長)………

検討課題である。今後県、関係機関、自治体間の水平連携により支援を行う。



歯と口の健康づくりは生きる力を育む大事な取り組み

歯と口の健康づくりの推進を

教育長…学校教育目標の重点取り組みの一つである

問………
※業務継続計画とは

災害時に行政自らも被災し、人、物、情報等利用できる資源に制約がある状況下において、優先的に実施すべき業務(非常時優先業務)を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等をあらかじめ定める計画。

問………
※被災者生活再建支援制度とは

被災者生活再建支援法に基づき、自然災害により居住する住宅が全壊するなど生活基盤に著しい被害を受けた世帯に被災者生活再建支援金を支給し、生活の再建を支援するもの。10世帯以上の住宅全壊被害が発生した市町村など、対象となる自然災害、被災世帯の要件がある。

答(教育長)………

むし歯予防に大きな効果がある。安全性や有効性が確認されており、全国の自治体での実施率も年々増加している。実施への不安解消とむし歯罹患率の改善を図るために、保護者、学校、歯科医師会等の団体、関係機関と協議していく。

問………

むし歯の現状は。

※フッ化物洗口

比較的低濃度のフッ化物水溶液を口に含み、30秒間ブクブクうがいをする方法。



荒川 栄悦 議員

一問一答方式

「小さな拠点による地域づくり構想」 急がずに自治会との合意を

市長…必要であれば、

私も各自治会へ赴き説明をする

問……………

「小さな拠点による地域づくり構想」は、去年市長と語ろう会で示されたが、当局はそれ以前から、地区センターの在り方構想を示し、地区まちづくり計画を策定、一括交付型補助金300万円による地域づくりを進めてきた。しかし、住民自治の観点からいえば、

答(市長)……………

この「小さな拠点による地域づくり構想」の市民理解はまだ十分でないとの声があることは認識しており、市民理解と市民参画をい

かに拡大していくのが大きな課題である。今後地域づくり事業の実施等の取り組みを通じ、自治会への説明も、丁寧さと、しっかりとした手順を踏まなければならず、説明の場を設けなければならぬと認識している。

答(市長)……………

地方公務員法の改正により、行政区長任用の見直しが必要になった。このことから、将来行政区長職を廃止し、自治会に委託する手法も検討していき

行政区と自治会との関係は

市長…新たな課題であると

認識している万全を期す

問……………

遠野市行政改革(地域づくり)推進基本方針において行政区の再編を掲げている。進化まちづくり検証委員会からは、自治会と行政区の役割の混在が指摘され、役員の兼務などによる住民の負担が増している指摘されている。行政区と自治会の再編をどの様に考えているか。

い。地域活動の新たな課題と認識している。今後、自治会等への説

明も行いながら、市民理解と市民参画を拡大していきたい。



テーマを「小さな拠点の地域づくり」と題して4月に行われた市民と議会との懇談会の様子



佐々木 僚平 議員

一括質問方式

食育センターの現状と学校給食費無償化

教育長…地産地消をすすめ

無償化は国の動向を注視していく

問……………

遠野市における学校給食の実施状況と総合食育センター「ばすばる」の行事や管理体制について伺う。

答(教育長)……………

総合食育センターは、主として五つの役割をもつ。学校給食の他に、栄養士による食育講座を

実施し食育を推進している。学校給食の食料地産地消率は約70%。高齢者食生活支援として、社会福祉協議会が実施する宅配弁当を提供している。災害時対応として現在一日七千五百個のおにぎりを三日間提供できる機能を有している。ほかに「ばすばる食育まつり」を開催している。学校給食について

問……………

学校給食費無償化について、完全無償化、段階的無償化など、保護者の負担を軽減する考えはないか。

答(教育長)……………

本市の学校給食費は、平均より安く設定されており十四年間据え置いている。就学援助費からの納入の場合、保護者の一時負担がない。無償化につい



すべての子どもたちが学校給食を無料で食べられるよう待たれる

ては国においても議論されており、国の動向を注視し財源確保を要望していく。

非核平和都市宣言と市の取り組みは 市長…今後も継続していく

答(市長)……………

原爆パネル写真展とびあ庁舎、宮守総合支所で毎年開催している。戦没者追悼・平和祈念式典において非核平和都市宣言を読み上げた。

宣言記念碑を鍋倉山三の丸跡から蔵の道ひろばへ移設し、懸垂幕を市役所本庁舎に設置し、広く市民の目に触れるよう取り組んだ。

「非核平和都市」の趣旨のもと、原爆の悲惨さを風化させないために、今後も、市民の皆様とともに平和意識の高揚に努めていきたいと考えている。



佐々木 大三郎 議員

一問一答方式

ふるさと公社の経営改善策は 市長…株式会社化を検討している



来年2月に営業終了する「結いの市」

問……………

平成20年度以降取支が赤字状況に陥ったことから「経営改革3か年計画（H28～H30年度）」を策定し、30年度までに黒字化を目指すとしていたが4900万円の赤字。原因は。

答(市長)……………

公社理事、職員が丸となって経営改善の気概を持って設定した

が、赤字のみが強調される風潮に職員が萎縮し、経営改善の気概に水を指す面もあった。

問……………

イオンからの「結いの市」撤退についての真偽は。また、生産農家の救済策は。

答(市長)……………

イオンとの契約満了により来年2月に営業を終了する。生産者へ

の対応は、川徳を含め新たな販売先を探る。

問……………

債務超過見込みと、資金繰り問題から株式会社化を検討しているのか。

答(市長)……………

公社が自立した経営体を目指すには、新たな資金調達手段の確保が必要不可欠ことから株式会社化を検討し

ている。

問……………

ふるさと村と水光園の経営分離は。

答(市長)……………

経営分離は経営改革の一つの選択肢である。当面は経営改革によって収支改善を目指したい。

問……………

駅舎の一部に宿泊施設を設けるという案であるが、市内の宿泊事業者など関係者と調整を図ったか。

答(市長)……………

宿泊事業者や観光協会等との調整は、市が検討している案がまると、J Rとの合意形成が整った時点からとなる。

問……………

駅舎新築に係る費用の一部に民間資本を活用ということであるが、集まらなかった場合の対応は。

答(市長)……………

駅周辺を「戦略・情報発信エリア」と位置づけ、多くの人が集い情報を共有しあえるエリアにする。駅舎の整備費用やスケジューリングはこれからの検討課題。

J R遠野駅舎の活用策は 市長…J Rと市の新築合築 で協議を進める

問……………

市の負担が少なくなるように、民間資金にターゲットを絞り、多くの関係者からご協力を頂くように務める。

答(市長)……………



菊池 巳喜男 議員

(遠野令和会)

一問一答方式

遠野スタイル創造・発展総合戦略から 見えるものは 市長…人口減少の抑制に挑戦していく

問……………

平成30年度KPI実績18指標中、未達成が12指標、要因は。

答(市長)……………

総合戦略策定は、重要業績評価指標であるKPI(キー パフォーマンス インディケーター)を年度ごとに18項目設定し、総合計画審議会と議会に諮り検証している。KPI達成率は33%と平成29

年度比1指標減となる。未達成は100%未達成であり、90%以上の達成率に置き換える

と11指標となり、平成29年度と同等になる。人口減少が進む中、

目標数値を年々増加や現状維持の積極的な数値に設定している、この中でも健闘している。中でも、子育て対策の未達成は、近年の出生率が増加傾向にあるものの、子どもの総数

を総人口や年代ごとの人口構造で見ると、少子化に歯止めがかかっていない状況である。

また、高齢者対策の未達成は、生産年齢期における健康づくりの意識醸成が進まない

ことや、高齢期の就労意欲や社会貢献の考え方も多様化していることが要因と考えられる。

その他の質問
●有害鳥獣駆除対策の現状と対策について

問……………
市内の新規学卒者雇用数も減っており、生産年齢人口の割合が減

生産年齢人口の減少対策は 市長…若い世代の雇用と 就労環境の確保が必要



子育ての拠点である市内保育園の運動会 (岩滝保育園提供)

答(市長)……………

生産年齢人口、いわゆる若者・子育て世代の流出に歯止めをかける対策が急務である。平成30年度出生数は164人と2年連続で増加傾向にあるが、18歳までの子どもの各年齢の平均人口は約200人であるのに対し、19

歳以上の平均人口は300人と100人程度のギャップがある。総人口が減少傾向にあって

も、子どもの割合の伸びに結び付いていない。子育て支援施策を部

局横断的に総合的に進めていくために子育て応援部を立ち上げている。

問……………
今年度で計画最終年

地元での雇用と就業環境の確保が必要であり、新たな雇用の創出を促進し、人口減少の抑制に挑戦していく。



新田 勝見 議員

一問一答方式

その他の質問

- 市民センター管理運営について

地区センター 市の職員は残すべき

市長…新たな取り組み必要

問……………

今後地区センターの役割は大きく行政改革が済むまで正職員は残すべきと思う。自治会の在り方や、行政区再編までは時間をかけ住民合意まで進め、行政と地域をつなぐ役目を果たすべき。

答(市長)……………

住民ニーズも多様化し、従来の取り組みだけでは、十分ではなく、新たな取り組みが必要

になつてきている。

問……………

区長ヒアリングの意味はあるのか。方針を無理に進めるための根回しと思うが、区長も住民の声をまとめたものでは無く、時期尚早と思う。

答(市長)……………

地域リーダーである方々から、個人的な意見であるとの前提ではあったものの、地域課題が整理され、一つの

問……………

改革案をまとめることが出来た。

恵まれた自然や生活環境は、住む人によって育まれる。今後農産部を活かした民泊や、芸能の保存伝承、自然景観を生かした事業など取り組み課題は山積している。

また、地域の活動を担う消防団の組織再編も途中だが、そういった整合性について、自治体の在り方など、協



地域づくりの拠点 地区センター

議することはたくさんあり、農村部の政策についてもっと深く考えていく必要があるのでは。

答(市長)……………

都市と農山村の交流拡大の観光資源と認識している。

消防団の再編については整合性を取りながら検討している。

高齢者運転免許証自主返納者の足の確保は 市長…交通空白地有償運送を促したい

問……………

最近高齢者による交通事故が多発、大きな社会問題になり、高齢者の運転免許証自主返納が増えている。しかし、その反面、返納した高齢者は、足の確保が大変困っている。遠野市は、面積も広く、車なしの生活は考えにくい。

答(市長)……………

市としても他市町村を参考にしながら、返納者の負担にならないような施策が必要と思うが。

路線バス等につながる地域内の交通空白地有償運送(住民による運送)を促していきたい。



龍本 孝一 議員

(遠野令和会)

一問一答方式

急速な少子高齢化の進展により、地方は特色を活かして自立的で持続的な社会を創生することが早急に求められている。特に人口減少が急激

答(市長)……………

前回6月議会に引き続き、市民理解が進んでいない「小さな拠点」づくりの意義や必要性を再度尋ねる。

問……………

に進む中山間地域では、商店等生活基盤が存在する基幹集落を中心とした複数の集落による「小さな拠点」(集落生活圏)を形成して、地域で安心して暮らし続けられる仕組みづくりが急がれる。

問……………

行政依存から自立する地域社会の構築と、指定管理者制度への移行時期などは。

答(市長)……………

行政サービスも、従来通りの仕組みではこれまで通り維持することが困難となつてきており、市民が自主的に行政運営に参画する住民主体の「地域運営」を実現しなければなら

ない。指定管理者制度への移行は、地域の合意形成や熟度をしっかりと判断しながら、令和2年度以降からの準備を進めている。

問……………

市内の実家・高齢者介護施設等へ、首都圏等から定期的に帰省して肉親等の見守り介護をしている、家族・親族等の統計の有無や実態把握をしているか。

答(市長)……………

本市の65歳以上の高齢者の1人世帯及び2人世帯の数は把握しているが、首都圏等から定期的に帰省して見守り介護をする家族の実態調査の実績や統計等のデータはない。

問……………

帰省費用等の経済的負担の認識と、ふるさと納税制度を活用した支援策等の考えは。



定期的に帰省して肉親等を見守り介護する人々へ支援策を

わたしのひとこと

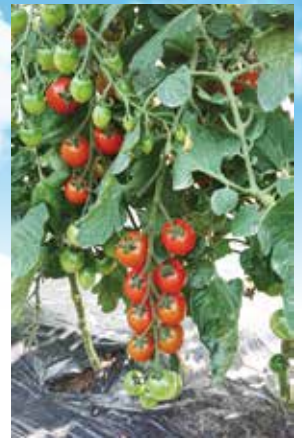


太田 啓子 さん
(宮守町達曽部)

◀ 5歳の娘さんが描いた
啓子さんの似顔絵

縁あって遠野で農業を始めて10年になる。今では「農家のおばちゃん」が天職だと思っている。もともと黙々と何かするのが好きな方で、静かなハウスの中で作物と向き合っていると、平和だなあと思う。自然の音に耳を傾けながら考え事をしたり、時にはラジオを聴きながら作業に没頭していると、あっという間に時間が経ってしまう。

それまでも、一応人並みに働きそれなりに暮らして来られたけれど、何かしっくりこない感じがあった。ご縁に恵まれて今ここに居られるのは、本当にラッキーなことだと思っている。



新規就農にあたってお世話になった方々、いろいろ教えてくれる農家の先輩方、受け入れてくださった達曽部の方々に感謝を忘れず、これからさらにワンランク上の「農家のおばあちゃん」を目指して頑張っていきたい。

このコーナーは、市民の皆様のまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

秋深き隣は何をする人ぞ
(松尾芭蕉)

菊薫る候。遠野の郷も清涼の秋気が身にしみる季節になりました。読書？芸術？スポーツ？食欲？令和最初の秋をいかがお過ごしですか？

9月議会は決算議会。市のお金はどう使われ、目的に対してどんな成果を出したか。どのような改善工夫が必要か。議会は、平成最後の決算を認定しました。

編集後記



「丁寧な合意形成を図り、しっかりと手順を踏む。」と当局が約束した「小さな拠点による地域づくり」。全議員18人で、市の取り組み姿勢を注視してまいります。

私たち広聴広報常任委員会が59号の編集にかけた時間は、のべ16時間以上！親しみやすく読みやすい紙面づくりに挑戦します。ご意見ご要望をお寄せください。

(美也)

広聴広報常任委員

- 委員長 小林 立栄 ■副委員長 佐々木 恵美子
- 委員 小松 正真・菊池 浩士・菊池 美也・新田 勝見

とのおの 議会だより クイズ

欄に適切な言葉を入れて下さい

- その① 議案第28号の内容は、地区センター施設を〇〇管理者に管理委託することができる規定。
- その② 来年度は「〇〇物語」が発刊されてから110周年！
- その③ 教育民生常任委員会が遠野ケアイノバージョン会議と〇〇〇問題について懇談しました。

この議会だよりの中に答えがあるので、最初から最後まで読んでみてください



《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》 〒028-0592 遠野市中央通り9番1号 遠野市議会事務局 宛

《メールでも応募できます!!》 gikai@city.tono.iwate.jp

《しめくり》 令和元年11月15日(金) (当日消印有効)

～議会だより58号クイズの答え～

- その① 5 その② フェイス その③ シェイクアウト

議会への提言をお待ちしております!

遠野議会だより

No.59

【発行責任者】遠野市議会議長 浅沼 幸雄 【編集】広聴広報常任委員会

〒028-0592 岩手県遠野市中央通り9番1号
ホームページ <http://www.city.tono.iwate.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/tonoshigikai>

TEL 0198-62-2111
E-mail gikai@city.tono.iwate.jp

【印刷】株式会社 東海印刷所

